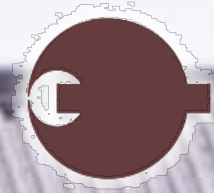


未来のまちづくりを共に考える

大宮通り ジャーナル

OMIYA STREET JOURNAL 夏号(第7号)



NARA-PREFECTURE
奈良県

巻頭インタビュー

奈良商工会議所青年部 会長 竹田 孝宏さん

奈良を盛り上げる多彩な活動で 地域経済の発展に貢献



奈良商工会議所青年部 会長 竹田 孝宏さん

奈良を盛り上げる 多彩な活動で 地域経済の発展に貢献

奈良商工会議所
青年部会長

竹田 孝宏さん

奈良の経済を支え、地域の発展のためにさまざまなイベントの運営にも関わる奈良商工会議所青年部。設立40周年の節目に会長に就任した竹田孝宏さんに、その取り組みや奈良への想いについて伺いました。

奈良の経済発展や 活性化に積極的に貢献

奈良商工会議所の下部組織である奈良商工会議所青年部(以下青年部)は、45歳以下の経営者もしくは経営者に準ずる人で構成される団体です。

地域経済の発展や地域活性化のために活動することを目的としています。私は今年4月から第41代会長に就任し、1年という任期を務めているところです。青年部設立40周年の節目というところで、同じ志を持つメンバーと共に、責任ある行動と言動を心がけたいと考えています。

メンバーは経営者としての仕事と並行して、青年部の活動を行います。さまざまな活動がありますが、そのひとつが月に1度の例会です。内容は毎月違って、会員の親睦会を開催することもあれば、講師を呼んで勉強会をすることもあります。今年にはメンバーがそれぞれ行っている事業のPR活動を積極的にしてほしいと呼びかけているところです。親睦といっても、名刺交換だけでは踏み込んだお話しはなかなかできません。そこで、自分たちが具体的にどういった事業を展開しているのか、プレゼンしてもらおうと。そこから新たなビジネス交流が生まれることを期待しています。

奈良県や奈良市など、行政から見交換を求められる機会も多いです。奈良で開催されるイベントごとに推進委員会があるのですが、そのメンバーとして直接参加することもあります。各地で開催されるシンポジウムに呼んでいただくこともあり

ますね。意見交換は会長である私や4人の副会長が主に担当します。奈良の課題をどう解決していくのか、行政の皆さんと共にどんなことを考えていきたいですね。

奈良を盛り上げる さまざまなイベントを支える

先程も申し上げたとおり、青年部は奈良を盛り上げるさまざまなイベントにも関わっています。なら燈花会や平城京天平祭、春日若宮おん祭りの際に行われるお渡り式、なら瑠璃絵などが主なものでしょうか。各行事に実行委員会が設置されているので、その一員として青年部のメンバーが参加したり、当日の運営に携わっています。行政からの補助金や助成金に頼るばかりではなく、協賛金もできるかぎり協力しています。イベント当日に飲食店の出店が必要であれば、青年部のメンバーで飲食店を経営している者に声をかけるなど、人を繋ぐ役割もありますね。私たちは経済団体ですので、地域のイベントに参加することでビジネスに繋がっていききたいという想いがあります。また、「なら奈良祭り」という、奈良商工会議所青年部が単独で主催す



奈良商工会議所青年部主催の「なら奈良まつり」

る思い入れの深いイベントもあります。毎年9月に平城宮跡で開催し、今年で7回目となります。

観光客向けではなく、地域の方が親子3代で楽しめるような、昔ながらのお祭りをやりたいという想いでスタートしました。盆踊りや縁日、小さいながらも花火の打ち上げもあり、喜んでいただいています。

開催当初は地元の方が多かったのですが、最近は他府県からのご参加も多いです。おばあちゃんが奈良に住んでいて、大阪や京都に住んでいるお孫さんが遊びに来る、といったケースが増えていると聞いています。「こんなお祭りがあるから遊びにおいでよ」と声をかけるきっかけになっているようです。昨年は2日間で約2万人の方に来ていただきました。

今後は、お祭りを通して次世代の経営者を育てていけたらと考えています。例えば、地域の学生さんに奈良の食材などを販売してもらい、その体験をきっかけに奈良の魅力や商売の面白さを知ってもらえたら素晴らしいですね。まだ構想段階でさまざまな課題がありますが、関係のある方々に地道に交渉を続けています。

行政との継続的な 交流でまちづくりへの 想いを共有

青年部は奈良の経済発展と地域活性化のために活動していますが、やはり私たちだけでは限界があります。街づくりには行政の力は不可欠です。

かといって、行政だけで独り歩きしてしまうと、地域の実情に合わないといったことになりかねません。さまざまな機会を設けて、地域の人と行政が交流していくべきだと思っています。

青年部では、年に数回、奈良県や奈良市の若手職員の方との意見交換会を行っています。行政の皆さんが奈良の街づくりをどのように考え、行動しているかを聞く貴重な機会になっています。私たちの活動についても、忌憚らない意見をお聞きしたいですね。

若手職員の方とお話して感じるの、皆さんとても自分の街が好きで、



2017 平城京天平祭にて



奈良市の若手職員の方々とグループディスカッション

勉強もしているなということです。休日に奈良を歩いて魅力的だと感じたところをSNSで発信するなど、積極性があります。自分自身が広報マンだという意識が素晴らしいですね。

一方、行政がどんな考えを持ち、どのように働きかけているのか、私たちが知る機会はまだ少ないと感じています。広報誌やホームページだけではなく、実際に交流することで、街づくりに対する想いをどんどん共有していきたいですね。正式な場を設けることはもちろん、ざつぱらんに語り合える機会も大切だと思います。行政の皆さんには、さらに積極的に交流の場を作っていただき、共に地域の発展を目指していきたいです。

“真夏の奈良☆夕涼み連続フェス大作戦”

奈良の夏の風物詩

なら燈花会

2万個のろうソクが奈良公園を灯します。

第19回目を迎える奈良公園の夏の風物詩「なら燈花会」が、今年も8月5日(土)から14日(月)までの10日間、開催されます。

燈花会の会員の方、多くの公募サポーターの協力で、皆さまに幸せが訪れますようにと願いを込めながら灯りが灯されます。

今年の注目は春日野園地会場。広がりのある空間を生かした新たなデ



ザインが作られます。

期間中は、一般の方々もろうソクを灯すことができる「一客一燈」を実施します。協力金として500円をいただき、この協力金は来年のろうソク代金となります。

ぜひ、夏の思い出をなら燈花会でお作りください。【奈良公園室】

開催日：平成29年8月5日(土)

～8月14日(月)

開催時間：19時～21時45分

会場：奈良公園一帯

問合せ先：なら燈花会事務局

☎07421217515

入場無料

グレートサマーフェスタ

ならまち遊歩く新しい夏の過ごし方

提灯の誘い

今年初開催となる「ならまち遊歩」。奈良の夏の夜を提灯で照らす新たなイベントが誕生しました。

ならまちの町並みを照らす提灯のほか、エリア内の特定のポイントには、提灯アートが設置されます。さらに、猿沢池には、池床も登場。日常と非日常のはざまをお楽しみください。

周遊を楽しむコンテンツも

①ならまち楽座

楽座手形を購入すれば、お得なサービスが受けられる「ならまち楽座」。期間中を通じて使えるので、使えば使うほどお得なパスです！参加店舗は、120件以上。

②MY提灯アートづくり

提灯に絵や文字を書いてもらい、自作の提灯を片手に散策しながら、所定のポイントへ吊しに行ってもらいます。みなさんの提灯が集まり、ひとつの提灯アートができあがります。



ならまちの町並みを照らす提灯

③クイズラリー「ならまち・超珍探検隊」

スマートフォンを使い、ならまちにまつわるクイズを解いて行くと町の珍しい物事「超珍」に出会える町歩きクイズラリーです。

その他、18日・19日には、短日のイベントも開催します。

日中の暑さも少し和らぐ夕暮れ時、楽しく遊びながら、町をそぞろ歩きしてみたいかがでしょうか。新しい発見があるかもしれません。

【奈良公園室】

開催日：平成29年8月16日(水)

～8月25日(金)

点灯時間：18時30分～21時30分(予定)

※イベントにより、開催時間が異なります。

問合せ先：ならまち遊歩

実行委員会事務局

☎074219315250

詳しくは、公式ホームページ www.naramachi-yuho.com をご覧ください。

ならまち遊歩で検索。

入場無料



広大な星空の平城宮跡であふれる

七夕の魅力く天平たなばた祭りく

天の川 楫の音聞ゆ

彦星と織女と 今夕逢ふらしも

(万葉集 柿本人麻呂)

七夕祭りは、中国から伝わった行事と日本古来の行事が結びついた平城宮の宮廷行事が起源といわれています。

また、奈良時代には七夕に想いを馳せた多くの歌が詠まれており、平

城宮でも多くの人が夏の夜空を見上げ、星に願いをかけていたことでしょう。

この七夕発祥の地、平城宮で「天平たなばた祭り」をテーマに、様々なイベントを実施します。

万葉集の世界観を優雅に表現した「天平七夕行列」、地上の天の川を表現した「燈花会@大極殿」、遺構空間で星を鑑賞する「天平☆星めぐり」など七夕に関連するイベントを中心に、躍動的なバサラ衆やFM OSAKAのステージ、奈良特産の冷酒&かき水祭り、夏の夜市&子ども縁日など盛りだくさん。

平城宮跡の広い星空のもと、夏の思い出づくりに、ぜひお越しください。
【平城宮跡事業推進室】

■「天平たなばた祭り」

く平城京天平祭・夏く

開催日：平成29年8月25日(金)
く8月27日(日)

開催時間：16時～21時

問合せ先：平城京天平祭実行委員会

☎074212510707

晩夏から秋の平城宮跡

盆踊りや、世界の音楽を

楽しむイベント

新学期が始まってからも、家族連れで楽しんでいただける盆踊りや、世界のダンスと音楽フェスティバルなどのイベントが開催されます。

平城宮跡で、のんびりゆつくり、吹く風が心地よい季節を楽しみませんか。
【平城宮跡事業推進室】

奈良時代の宴を鑑賞

「東院庭園 庭の宴」では、奈良時代の遊興の宴を奈良文化財研究所の研究成果に基づき、忠実に再現。雅楽の演奏や古代衣装のファッションショーを観覧しながら、古代の酒や食事を味わう、平城宮跡ならではのイベントです。(有料・予約制)

■「東院庭園 庭の宴」

開催日：平成29年9月23日(土・祝)
開催時間：18時30分～20時

問合せ先：「東院庭園 庭の宴」

事務局

☎074213016753

■「なら奈良まつり」

開催日：平成29年9月9日(土)
く9月10日(日)

開催時間：9日15時～21時
10日11時～21時

問合せ先：なら奈良まつり実行委員会

☎074212616222

■「NARAD-SOZIC(音楽イベント)」

開催日：平成29年10月8日(日)

問合せ先：NARAD-SOZIC実行委員会

☎074214114573



秋の平城宮跡で

奈良時代を楽しむ祭り

萩が輝く平城宮跡で

「みつぎうまし祭り」

奈良の酒と食を味わい、花を愛で、古代行事と歌舞音曲を楽しむ「みつぎうまし祭り」を開催します。

今年は、新たに、奈良時代ゆかりの食のお楽しみや、平城京の国際性を彷彿させる海外の舞踊などをお届けするなど、皆様に楽しんでいただける祭りを計画中です。



阿倍仲麻呂オリジナル劇！
今年は第2弾も！



昨年、大好評のご朱印帳。
今年もお楽しみに！

「阿倍仲麻呂」遺唐

1300年記念プロジェクト

天の原

ふりさけみれば春日なる

三笠の山にいでし月かも

平城遷都から初めて遣唐使が派遣されて今年で1300年。

阿倍仲麻呂は、遣唐留学生として17歳で唐に旅立ち、その後「科挙」に合格。唐の官僚として活躍の後、50歳を過ぎて帰国を決意した送別会でこの歌を詠みました。しかし船は難破、長安に戻り、二度と三笠の山の月を眺めることはできませんでした。

この仲麻呂をはじめ平城京から派遣された多くの先人達の功績を知っていたことを目的に、阿倍仲麻呂「遺唐」1300年記念プロジェクト第二弾として、様々なイベントにより仲麻呂達遣唐使の功績を、お披露目する予定です。【平城宮跡事業推進室】

「みつぎうまし祭り」

「平城京天平祭・秋」

開催日：平成29年11月3日(金)祝

11月5日(日)

開催時間：10時～16時(予定)

問合せ先：平城宮跡にぎわいづくり

実行委員会

☎074227-8973

春の平城京天平祭が

華やかに開催されました！

5月3日から5日までの3日間、平城宮跡にて平城京天平祭・春を開催しました。

これまでのコンテンツに加え、今年新たに「天平きものガールズコレクション」、500名以上による「太極拳集団演武」や「天平横丁★肉と酒フェス」が開催され、多くの方々に楽しんでいただきました。天気にも恵まれ、3日間で4万4千人に会場していただきました。



500名以上による太極拳集団演武

祭の目玉となっている「平城京天平行列」。今年も奈良時代を感じさせる圧巻の行列となりました。

実はこの天平行列、毎年多くのボ



天平衣装を纏い、宮跡内を練り歩きます

ランテアにご協力いただいております。実際に行列に参加された方からは「普段、着ることのない天平衣装を着ることができてタイムスリップした気分になった(畿央大学・学生)」という声や「行列に並び、当時の人もこの風景を見ていたのかと感じた(奈良大学・学生)」と参加したことが有意義であったとの多くの声を頂戴しました。

8月25日から27日の天平たなばた祭では、天平七夕行列が行われます。光に包まれた天平行列をご覧いただき、皆様も奈良時代にタイムスリップしてみませんか？

【平城宮跡事業推進室】

平成30年春

平城宮跡歴史公園第一期開園へ！

平城宮跡歴史公園拠点

ゾーンの整備を進めています！

奈良県は、平城宮跡歴史公園の正面玄関となる拠点ゾーン(朱雀大路西側地区)に、交通ターミナル、レストランなどの飲食・交流施設、バス待合所などの観光案内・物販施設などを整備中です。

国土交通省が整備している平城宮跡展示館、復原的に整備される朱雀大路・二条大路とあわせ、1300年の時空を超えて、平城宮跡の意義や奈良時代の文化を楽しく学ぶ施設が、平成30年春に開園予定です。



平成 29 年 7 月 6 日現在

工事期間中は周辺地元の皆様には何かとご不便ご迷惑をおかけいたしますが、引き続きましてご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【平城宮跡事業推進室】



大宮通り新ホテル・交流拠点事業の動き プロジェクトの進捗状況

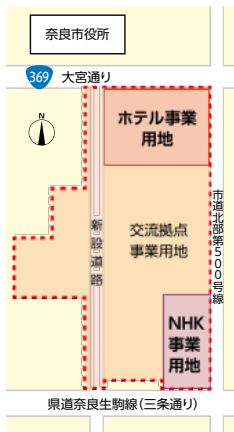
県が整備する交流拠点施設(コンベンション施設、屋外・屋内多目的広場、観光振興施設等)からなる複合施設)の基本設計業務を終え、現在、実施設計業務を行っています。

関係機関との協議、手続業務も順次実施しており、建築本体内工着手に向けて準備を進めています。

また、隣接して事業を実施するホテル事業者(JW Marriott)の国内初進出)、NHK(奈良放送会館の移転)でも、各々のスケジュールに基づいて設計業務が進められています。

引き続き、関係者と連携しながら事業を推進し、平成32年春の「まちびらき」を目指します。

【大宮通り新ホテル・交流拠点事業室】



交流拠点施設の東側全体外観パース

大屋根のかかった屋外多目的広場を中心にして、右側(北側)にコンベンション施設、左側(南側)に観光振興施設(2階の一部に屋内多目的広場)を配置

これまでも、これからも、名勝地奈良公園

奈良公園は、明治期に住民有志が興福寺旧境内の風致景観を守るため花樹を植えたことを契機に誕生しました。

この精神を引き継ぎ、県では、その風致景観を守るとともに十二分に利活用するための取組を進めています。

風致景観を守るために、拡張整備を続けてきた奈良公園

奈良公園の誕生日は、明治13年2月14日。廃仏毀釈で官有地となっていた約14haを、最初の公園地としました。

明治22年には約53.5haまで公園地を拡張し、鷺池、春日野運動場、公会堂等の整備を行いました。明治43年には、今日の奈良公園に近い姿となりました。

これにより、奈良公園は大正11年に良好な風致景観が評価され、国の名勝に指定されました。

昭和15年以降、社寺へ公園地の払い下げが行われ公園地が狭まった時期もありますが、拡張整備を継続し、現在では開園当初の約36倍、約511haとなっています。

奈良公園は、今年で137歳。明治以降、公園地の拡張整備を続けながら、名勝地「奈良公園」の風致景観を守りつつ利活用してきました。今

後も国内外から多くの方をお迎えできるよう、世界に誇れる公園を目指していきます。

高畑町裁判所跡地、吉城園周辺地区

現在、奈良公園の一部として取組を進めている高畑町裁判所跡地、吉城園周辺地区も、名勝地としての風致景観を守り、十分に利活用することとしています。

両地区の取組は、将来の奈良公園の指針や方向性を定めた「名勝奈良公園保存管理・活用計画」「奈良公園基本戦略」に基づき、幅広く、深く、意見を伺いながら進めております。

今回は、両地区の魅力とまちらびらき後のイメージをご紹介します。



高畑町裁判所跡地 庭園遺構の復元と、

宿泊施設・飲食施設の整備

高畑町裁判所跡地は、浮見堂と鷺池の南側、奈良公園の南端に位置する広さ1.3haの敷地です。

その成り立ちを紐解くと、明治期から大正期にかけて、大阪の財閥「山口家」が所有していた時代がありました。その後、平成7年まで家庭裁判所の官舎として利用され、平成17年から県が所有しています。

敷地内には、山口家が作庭した庭園遺構が現存しており、近代の奈良公園を代表する庭園であると高い評価を受けています。

文化人が交流を育んだ近代庭園

大正期から昭和初期にかけて、高畑町界隈には、文人、画家などの芸術家が多く移り住んでいました。京都の岡崎・南禅寺界隈と同様の別荘地であったとみられています。

この傾向は、志賀直哉が高畑町に在住した時期に顕著になり、洋画家の小見寺八山は当時、山口家当主の吉郎兵衛の知遇を得て敷地内に寄寓していました。志賀直哉の小説には、山口家の庭園を舞台に、二人をモデルとした記述もあります。



また、吉郎兵衛は、近代数奇者の一人として茶の湯愛好家が輪番制で茶会を催すグループ「篠園会」、「籀龍会」の一員として活躍しました。両会の茶会がこの地で開かれた記録が残っており、出席者には大谷尊由や野村徳七らなど、日本を代表する近代数奇者が名を連ねています。

名勝として評価の高い庭園遺構

高畑町裁判所跡地の庭園遺構は、高低差のある地形が巧みに活かされています。眺望豊かな地に、園池や二つの滝石組を構え、全域に園路を巡らせ、石造物を配する空間構成は見事であり、名勝として高い評価を得ています。



風格のある石灯籠と
矢跡のある景石



茶室へと誘う露地



高低差を活かした、
意匠性の高い石階段

特に、敷地高台から高円山や若草山を眺望できるように、異なる奈良の風景を楽しめることは本庭園の魅力です。
また、庭園遺構では、伝統的な意匠のみならず、斬新なデザインにも出会うことができます。

歴史を感じさせる風格ある石灯籠や、小石を積み上げた繊細な石垣があれば、新しい創作型の石灯籠、巨石を用いた豪壮な滝、小さな池に敷き詰められた色鮮やかな石敷きなど、見所の多い庭であることも本庭園の魅力です。



園池から飲食施設を望む

その一方で、石灯籠や築地塀の毀損、竹林の繁茂等によりその価値を損ねている状況にあります。

日本が誇る庭園文化・茶の湯文化 を感じることでできる場の再興

県では庭園遺構と茶室を復元し、近代の日本を代表する茶道家・小説家・芸術家等が育んだ茶の湯文化や庭園文化をゆつたりと体験できる場として、一般公開します。

かつて、裁判所官舎があった場所には、庭園と一体となつて、ゆつたりとくつろげる宿泊施設と飲食施設を建てます。両施設の意匠形態は、名勝指定当時を偲ばせるような、高さ8m以内の2階建ての和風ものを予定しています。宿泊施設に新しくつくるサクラ



飲食施設から宿泊施設を望む

やカエデを中心とした庭は、一般の方も楽しむことができます。また、飲食施設では、パーティや会合など、様々な使い方が出来る空間となります。
整備後は、敷地内の庭園と宿泊施設・飲食施設が調和した空間が創出されるだけでなく、敷地内の樹林と、鷲池や飛火野など、周辺景観と一体となり、奈良公園全体の風致景観をより高めることとなります。
名勝地「奈良公園」を代表する高畑町裁判所跡地のまちびらきは、平成32年の春を目指しています。



当該地(赤枠)の状況(昭和50年当時)



出典：国土地理院より作成



奈良公園に新たな魅力、吉城園周辺地区のまちづくりが始まります！

奈良公園の価値を守り、高める

吉城園周辺地区は、近鉄奈良駅から大宮通りを東に移動し、興福寺、県庁舎を経て、東大寺に至る主要ルートに面しており、奈良公園の玄関口に位置する場所です。

その地区の価値は、名勝指定当時（大正11年）から色濃く保存・継承されてきた、地割りや樹林地、価値の高い建築物があり、すばらしい魅力を持っています。

しかし現状、樹林地は鬱蒼としており、建築物の一部は老朽化しています。

そこで、奈良県は、整備コンセプトを『江戸末期から昭和初期の「和を基調とした風情の中に洋を感じる近代建築物」と庭が織りなす空間のありかたと、往時を偲ばせる邸宅の雰囲気醸し出す空間美を保存する』と決めました。整備にあたっては、この佇まいを後世に伝え、継続的に維持するには、ゆつたりくつろぐことができ、また宿泊できる空間とすることが最も有効と考えました。

このコンセプトのもと、民間活力を

活用し、これまで守られてきた価値を適切に維持し、さらに魅力を向上させ、来訪された多くの皆様に利用頂けるように取り組んでまいります。

建築物を保存した管理・活用

昭和2年の名勝追加指定時以前に建てられた知事公舎、旧世尊院、吉城園主棟・茶室は基本的に外観を保存し、その建物と庭とが織り成す空間美を継承します。知事公舎は外観を保存するとともに、歴史的価値を有する「御認証の間」を完全に保存します。旧世尊院は、奈良公園の風致・景観と一体となった意匠・形態を保存します。吉城園主棟・茶室は外観や内部も保存します。

建築物の様相を保存

旧青少年会館や副知事公舎などの建て替える建築物については、各建築物の特徴的な様相を継承し、奈良公園の風情に合うように配慮します。デザインは既存の法規制に定められた基準を遵守することはもちろんのこと、当該地の価値を踏まえ、その風致景観をより高められるものとします。なお、高さは8メートル以内

の2階建ての和風のを予定しております。

一般の方も利用できる施設

吉城園の庭園や茶室のほか、これまで閉ざされていた空間を有効活用

し、一般の方へも広く利用していただけるようになります。吉城園周辺地区のまちびらきは、平成32年の春を目指しています。ご期待ください。

【奈良公園室】

吉城園周辺地区活用イメージ



詳しくは、[世界に誇れる奈良公園](#) [検索](#)

吉城園周辺地区完成イメージ

やまとし うるはし、おもしろし

総合フェスティバル

《オープニング》
世界遺産「東大寺大仏殿」で
華やかに開会式 9月2日
会場：東大寺大仏殿前
「交流、と融合、と創造、の1500年物語」

《フィナーレ》
大和のまつり 11月25日
会場：五條市上野公園総合体育館
◆地域に伝わる民俗芸能を披露し、地域の誇りとして
未来世代に継承される新たな祭りを創造

閉会式 11月26日
会場：奈良県文化会館
◆新たな文化の萌芽を未来へとつなぐ

国際交流事業

「NARA・国際交流フェスティバル」「ワールドフェスティバル天理2017」を同時開催
11月11日 会場：石上神宮、11月11日、12日 会場：天理駅前広場
◆音楽等による交流で多様な日本文化を発信 *その他、「グローバル観光セミナー」等を開催



原画「芸術の女神」 絹谷幸二(洋画家)

障害者交流事業

体感する奈良! ^{シン}心、^{カンカク}感覚展
9月24日～10月2日 会場：大淀町文化会館
10月6日～10月15日 会場：奈良県文化会館
◆「見るだけの鑑賞」では味わえないおもしろさを体感

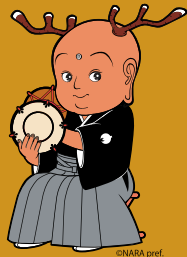
車いすダンスパフォーマンス
～あふれる躍動感!魅惑のエンターテインメント～
11月3日 会場：奈良県文化会館
◆障害のある人となない人がペアで、
車いすダンス大演舞会を披露

まほろば あいのわ コンサート
11月19日 会場：奈良県橿原文化会館
◆障害のある人となない人がともに作り上げるコンサート

手話 パフォーマンスステージ
～表現はコトバを超える～
11月12日 会場：奈良市ならまちセンター
◆手話ダンスパフォーマンス、手話演劇等
ステージイベントを開催

ビッグ幡 in 東大寺
9月1日～3日
11月23日～30日
会場：東大寺
◆障害のある人が描いた
「幡(ばん)」の掲揚

*その他、「全国障害者作品展」
「バリアフリー映画祭」等を開催



国文祭 障文祭 なら2017

9.1²⁰¹⁷ FRI → 11.30^{THU}

源日本文化の探るの
楽しむの今を
文化の今を
礎を築く
立文化芸術
を強く
絆を強くとの
あいのわ
障害者の
人となりの

県内全39市町村で
103事業を開催!

分野別フェスティバル

県内全39市町村で75事業を展開

市町村と連携し、全国から文化芸術団体が
集い日頃の成果を披露する合唱や吹奏楽を
はじめ、社寺を舞台とした人形浄瑠璃や
アニメとのコラボ演出、
奈良県発祥の「能」や「相撲」など、
音楽、舞踊、美術、生活文化、文芸、伝統文化、
歴史文化、文化一般の8つの分野で様々な
文化芸術イベントを開催

シンポジウム事業

フォーラム・NARA

「日本文化の源流を探る」9月23日 会場：奈良県文化会館

「文化の今を楽しむ」10月15日 会場：春日大社

「障害のある人となない人の絆を強く」11月5日 会場：かしはら万葉ホール

「文化芸術立国の礎を築く」11月18日 会場：大神神社

*その他、「日本アートマネジメント学会全国大会」「食文化シンポジウム」「農村文化の魅力未来へ伝えるシンポジウム」等を開催

第32回国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会

全国初の一体開催!
奈良から新たな文化を発信

国内最大級の文化・芸術の祭典を盛り上げよう!

「国文祭・障文祭なら2017」応援サポーター募集中!

当祭典を盛り上げるために、「国文祭・障文祭なら2017」
の紹介・PRをしてください!また、開催期間中に全国から
来られる方や障害のある方が楽しんで、奈良を好き
になってもらえるよう、おもてなしにもご協力ください!

「せんとくんバッジ」
などの応援ツールを
ご提供します!



公式ガイドブック好評配布中!

開催されるイベントの完全ガイドブック。

地域のお土産が当たるスタンプラリーも掲載!

奈良県内の主な文化施設、観光案内所、各市町村役場、県内図書館、
近鉄主要駅、JR奈良駅等で無料配布しています!



主催：文化庁、厚生労働省、奈良県、第32回国民文化祭奈良県実行委員会、第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、市町村、市町村国民文化祭実行委員会、文化芸術団体
同第32回国民文化祭奈良県実行委員会事務局 / 第17回全国障害者芸術・文化祭実行委員会事務局 (奈良県地域振興部国民文化祭・障害者芸術文化祭課内) TEL.070-2287-3419



観光・宿泊のご相談はトラベルセンターへ TEL.0742-23-4891 (平日10:00～18:00)

国文祭 なら 検索



SNSで最新情報発信中!

イベント名	開催期間	開催場所	問合せ先	料金
なら燈花会	8/5 (土) ~ 8/14 (月)	奈良公園内一帯	NPO法人なら燈花会の会事務局 ☎0742-21-7515	無料
グレートサマーフェスタ ならまち遊歩	8/16 (水) ~ 8/25 (金)	ならまち周辺	ならまち遊歩実行委員会事務局 ☎0742-93-5250	無料
天平たなばた祭り~平城京天平祭・夏~	8/25 (金) ~ 8/27 (日)	平城宮跡	平城京天平祭実行委員会 ☎0742-25-0707	無料
奈良県国民文化祭・障害者芸術文化祭	9/1 (金) ~ 11/30 (木)	県内各地	国文祭・障文祭なら2017 実行委員会事務局 ☎070-2287-3419	無料 (一部有料)
第7回なら奈良まつり	9/9 (土)・9/10 (日)	平城宮跡	なら奈良まつり実行委員会事務局 (奈良商工会議所内) ☎0742-26-6222	無料
東院庭園 庭の宴	9/23日 (土・祝)	平城宮跡東院庭園	[東院庭園 庭の宴]事務局 ☎0742-30-6753	有料
みつきうまし祭り~平城京天平祭・秋~	11/3 (金・祝) ~ 11/5 (日)	平城宮跡	平城宮跡にぎわいづくり実行委員会 ☎0742-27-8973	無料
奈良マラソン2017	12/9 (土)・12/10 (日)	鴻ノ池陸上競技場ほか	奈良マラソン実行委員会事務局 ☎0742-81-8752	申込終了
奈良 大立山まつり	1/26 (金) ~ 1/28 (日)	平城宮跡	大立山まつり実行委員会 ☎0742-27-8051	無料

「ぐるっとバス」ルートマップ

●「ぐるっとバス」の詳しい運行情報は
 < HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」 >
<http://www.nara-access-navi.com/>

奈良公園ルート

平城宮跡ルート

「ぐるっとバス」の詳しい運行情報は
 < HP「奈良公園・平城宮跡アクセスナビ」 >
<http://www.nara-access-navi.com/>

花壇の植え替えをしてくださる方を募集しています。

創刊号や第2号で紹介させていただいた「ゆめみあーと」や「緑友会」などの団体に、大宮通り沿いの花壇の世話をさせていただいています。

また、お住まい、店舗などの前の花壇、プランターを気にかけていただいているところもあり、地域の皆様のおかげできれいな花が長い間咲き続けてくれます。

大宮通り沿いの花壇の春・秋の植え替えをしてあげよう、という方がおられましたら、ぜひ道路管理課までご連絡ください。花や肥料等の準備をさせていただきます。

【道路管理課 TEL: 0742-27-7502】



大宮通りジャーナル 夏号 (第7号) 2017年7月発行

発行 奈良県

編集 県土マネジメント部まちづくり推進局
平城宮跡事業推進室

●各事業に関するお問い合わせ

平城宮跡事業推進室

奈良公園室

地域デザイン推進課

大宮通り新ホテル・交流拠点事業室

Tel.0742-27-8973

Tel.0742-27-8036

Tel.0742-27-7521

Tel.0742-27-8873

道路管理課

道路環境課

国民文化祭・障害者芸術文化祭課

Tel.0742-27-7502

Tel.0742-27-8667

Tel.0742-27-8478